

北陸信越ブロック交流会  
福井県芦原温泉「みのや泰平閣」で開催  
石川県は念願の「会員目標200名」を達成

長野・新潟・富山・石川・福井の5県本部で構成する、国賠同盟北陸信越ブロック交流会が、10月4～5日の2日間にわたり開催されました。石川県からは尾西会長以下4名が参加しました。（長野8、新潟8、富山1、福井14、中央2、他2の39名）



「不屈」NO.580 付録  
石川版 NO. 337  
2022年10月15日  
治安維持法犠牲者国家賠償  
要求同盟石川県本部  
〒920-0856  
石川県金沢市昭和町5-13  
石川県平和と労働会館2F  
国民救援会石川県本部賛同  
TEL・FAX 076-262-3447



し、200名会員を達成しました。2021年度4月当初の1  
32名会員数からは68名の会員増加となりました。

## 北陸信越ブロック交流会の感想文

平野 栄

10月4日・5日と、初めてのブロック交流会に参加させて頂きました。会場に向かう間に、尾西会長から200人の拡大目標を達成したと、報告されて、前日の電話の件が頭をよぎりました。

会場に到着して歓迎の看板を見て、改めて治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟北陸・信越ブロック交流会なのだと思ったら緊張しました。見たことない人達の雰囲気で、何が起こるのかわからなくなっているのは私だけのようです。

いよいよ開会されて尾西洋子全国常任理事のあいさつで始まり議長選出後、来賓で共産党福井県委員会の金元書記長があいさつ。記念講演者の中島哲演明通寺住職さんから「原発ゼロを諦めない」と題して講演していただきました。短い間でしたが改めて運動家の活躍ぶりが止まらない内容がありました。

中央本部の吉田会長から「国賠は日本に、とっても重大な団体である」と言われました。

田中事務局長からは、「3年ぶりに大会を開催して『映画伊藤千代子の生涯』上映運動と今日の激動する情勢に応えて奮闘すれば2万人会員が実現出来ると運動に取り組んだ結果、6月時点で3114人の新しい会員を迎えて大きく前進したとの報告がありました。

全国は9ブロックに分けてあり北陸信越ブロックは、5番目です。

次に各県が報告されて、石川県は、尾西会長から200人の

拡大目標を達成して交流会に参加していると報告発言し、各県の会長からも取り組みや問題点が報告されていました。追加でも各県からの情報が出て大変有意義な時間を過ごすことが出ました。

本部会長から国賠は新しい法律を作るために運動としてやっている。裁判闘争することは議論しており負けて終わる訳には行かないとの発言がありました。

また、治安維持法犠牲者の掘り起しが各県で行っているけど難しいとも報告されていました。

個人的に思うけど、「ロナ禍の中です、一人一人が活動をして家族友人知人に国賠の事を広め、役員だけでなく個人が運動していく事が大切だと思う交流会であり参加させて頂きました」

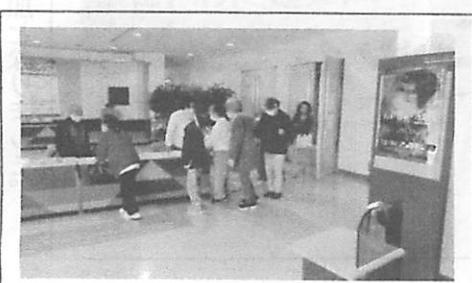
### 映画「わが青春つきのとも

#### —伊藤千代子の生涯—

10月8日(土)加賀市アビオシティホールで午後2時から上映会を開催し、60名の方々

が鑑賞されました。

鑑賞者は福井市、三国町、あわら町からも参加があり、新しい駅舎を建設中の加賀温泉駅そばの映写会場は盛況でした。



## 映画「わが青春つむじとも」伊藤千代子の生涯 県内上映会に寄せられた感想

戦争は絶対してはならない

○東京女子大の学長さんの言葉が心に残りました。今の大學生は志の自由、國の将来、眞実を考える「知」のよりどころになつていいでしょうか。本当にたくさんの方々の熱い思いで今がある。再び戦争は絶対してはならない。

○正しいと思うことを正しいという事が許されないそんな国は絶対おかしいと思います。民主主義を守り戦争反対の声をあげ続けることの大切さを痛感しました。とても迫力のある映画でもっと各地で長く上映してほしいと思いました。

○「天子様に反逆して」というおじいさんの声があつたけど、太平洋戦争の末期、日本がした玉碎とか特攻とか、今のウクライナでもしない人命軽視の戦争。左翼は赤狩りされ、非国民として取り締まり恐怖を与えた。今は国葬に反対したら非国民？千代子の思いを受け継ぎたい

○女性に対しても拷問がこんなにすこかつたのか驚いています。日本の戦争の悲惨さがここから始まっていると思います。なぜ日本があんなバカな戦争をしたか疑問です。早く軍人などいない日本にすべきだと思った。千代子さんの思いを受け継ぎたいものです。

○この映画を観て「歴史はくりかえさないが、韻をふむ」という言葉を思い出しました。獄中の様子は外国人と人管問題、天皇制に順応した共産主義はブーチン・ロシアの体制内野党となりてたロシア共産党など、私たちが直面している問題について歴史から学ぶことは多いし、そうすべきだと改めて思いました。戦時中の反戦運動に勇気が出た

○小中学校で習った範囲では戦時中、天皇制や侵略戦争に対する人はいないイメージだったんで、その時代にたたかつていって人がいるという事を知って勇気が出ました。本から学んだこ

とを行動に結びつけているのが印象的で自分自身も行わないといけないなと思いました。

○最後の最後まで自分の意志でやりたい」とを貫き通した強さに心打たれた。思想信条の自由が当たり前のような時代に生まれた私のような世代の人こそ千代子の時代のことや連勤についてもつと知るべきだと思う。私も自分の考えに自信がなくなることがあるが、同じ志を人と手を取り合ってみんなで社会を変える』ことを続けたいと考える。

### 不屈の闘いが今の憲法に

○こうした名もない方々の不屈の闘いをつないで戦後の憲法に繋がったのですね。最後の場面を観ながら平和憲法下、千代子にのびのびとした生を味合わせてあげたかったとしみじみ思いました。

○嵐の吹き荒れる時代に不屈の精神を貫いた女性たちの伝えたい」とがあつたからこそ今の私たちがあり、民主主義が守られているのではないかと考える。女性の強さは本当に男性を超えるものがありますね！

○まずこの映画製作に心血を注いでくださった各位に心より御礼申し上げます。私たちの主権在民と平和が暴力による思想弾圧を潛り抜けた上に成り立つていて、女性の生き方を通じて赤裸々に体験することができ大切なことを導く力をこめてもらいました。伊藤さん安らかに眠つてください。

### 映画上映会は、11会場・15回の上映終了

5月28日の試写会を終え、9月10日の七尾会場から県内各地の上映会が開始されました。各地の鑑賞者からは感想文にありますように大きな反響を呼んでいます。あと松任(10月15日)・輪島(10月29日)・金沢(11月23日)の3回となりました。NHKテレビニュースでも取材・放映されました。

# 治安維持法賠同盟 2022年女性部ニュース



NO. 3

2022年9月28日

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟女性部

TEL03-5842-6461 FAX03-5842-6462

コロナ禍はまだ収まりませんが、感染防止に細心の注意を払いながら、「集まりたい」「全国の仲間に会いたい」という声にこたえて、第31回全国女性交流集を下記の日程で開催します。

お待たせしましたが、大要がまとまりました。全体会では、創立100周年を迎えた日本共産党の田村智子参議院議員・副委員長にお話しいただきます。かつて、哲学者の久野収さんと鶴見俊輔さんが日本共産党の一貫した態度・たたかいを、動かぬ座標として、「北斗七星」にたとえました。その輝くあゆみから学び、市民と野党の共闘を築く「力」にしていきたいと思います。現職議員としてのリアルな話もお聞きできると思います。全ての地域からのご参加を心から呼びかけます。(別途、参加申込書、集会要綱、分科会案内を送ります。)

## 第31回全国女性交流集会

日時：2022年11月6日(日)～7日(月)

会場：ニューウエルシティ湯河原

記念講演 女性の権利・ジェンダー平等

時代を拓く不屈の闘い

講師：田村 智子さん

(日本共産党参議院議員・副委員長)



記念講演 田村智子さんのプロフィール：1965年 長野県小諸市生まれ。早稲田大学第一文学部に入学 学費値上げ問題で学生の声を代表する論陣を張る。日本民主青年同盟 東京都委員会勤務 日本民主青年同盟中央委員会常任委員。1995年より8年間、日本共産党国會議員団事務局に勤務 石井郁子衆議院議員秘書、井上美代参議院議員秘書として活動する。議員秘書時代の1998年の第18回参議院議員通常選挙を皮切りに、国政選挙に5回、地方選挙に1回、計6回立候補するもののいずれも落選。2006年10月、日本共産党東京都委員会の副委員長に就任。2010年7月の第22回参議院議員通常選挙に比例区候補として立候補、初当選。2016年4月、日本共産党副委員長、常任幹部会委員に選出される。同年7月、第24回参議院議員通常選挙で再選。2020年1月、日本共産党政策委員会責任者に選出される。2022年7月、第26回参議院議員通常選挙で3選。

女性部紹介についてお願い；例年、女性部活動報告の提出をお願いしてきましたが、今回は「女性部紹介」を提出してください。それぞれの女性部の結成から今までの活動や思い、今後の計画、女性部の特色など書いてください。また、現在、抱えている悩みや課題についてもどうぞ。結成準備中のところは抱負など書いてください。A4用紙一枚で、横書きでけっこうです(PDFではなくワードで)。手書きの場合は1,000字以内。締め切りは10月25日(火)メールでお送りください。